

令和6年度 「大砂土中学校 教育活動アンケート」 集計結果

○生徒・保護者の項目 良好な割合 黄色 90%以上 改善が必要な割合 水色 40%以上

○：共通項目の文言：原文を簡潔にしたもの

そう思う

 おおよそそう思う

 あまりそう思わない

 そう思わない

 よくわからない

アンケート 共通項目	生徒				保護者								
	良好		改善		良好		改善						
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6					
校訓・3つの実行	1 澁刺と 楽しい学校生活 【校訓】	R6	R5	R6	R5	93%	88%	5%	8%	93%	89%	7%	9%
	2 元気な あいさつ 【三つの実行】	R6	R5	R6	R5	91%	84%	8%	15%	76%	78%	22%	20%
	3 整理・ 整頓・清掃 【三つの実行】	R6	R5	R6	R5	87%	84%	11%	14%	55%	57%	45%	42%
	4 時間を守る 【三つの実行】	R6	R5	R6	R5	93%	91%	6%	8%	87%	88%	13%	12%
重点1	1 積極的な 授業参加	R6	R5	R6	R5	91%	86%	9%	10%	82%	85%	15%	12%
	2 わかる授業	R6	R5	R6	R5	80%	83%	19%	15%	69%	68%	27%	29%
	3 体力向上への 取組	R6	R5	R6	R5	80%	73%	19%	24%	72%	66%	27%	31%
	4 ICTの活用	R6	R5	R6	R5	96%	91%	4%	7%	73%	76%	12%	14%

重点 2	1 道徳の授業 の充実	R6	R5	R6	R5	88%	87%	10%	9%	79%	80%	8%	7%
	2 いじめの ない明るい学校	R6	R5	R6	R5	96%	93%	3%	4%	92%	93%	4%	5%
	3 教育相談・ カウンセリング の充実	R6	R5	R6	R5	94%	89%	4%	5%	81%	82%	12%	12%
	4 決まりや マナーを守る	R6	R5	R6	R5	97%	94%	2%	4%	94%	96%	4%	2%
	5 進路・キャ リア教育の充実 (深く考える機 会)	R6	R5	R6	R5	82%	72%	14%	20%	68%	65%	18%	22%
	6 進路・キャ リア教育の充実 (自身の進路につ いて深く考える)	R6	R5	R6	R5	78%	73%	18%	22%	53%	50%	43%	47%
重点 3	1 安全で安心 な学校生活	R6	R5	R6	R5	97%	92%	2%	5%	92%	87%	5%	10%
	2 「自分の命 は自分で守る」 意識	R6	R5	R6	R5	94%	89%	4%	7%	84%	86%	7%	8%
	3 安全・安心 への配慮	R6	R5	R6	R5	95%	93%	4%	4%	97%	89%	6%	5%

	4 充実した部活動	R6	R6						
		R5	R5						
		88%	87%	6%	6%	81%	85%	13%	10%
重点 4	1 地域の活動に関心	R6	R6						
		R5	R5						
	2 チャレンジスクールへの参加	R6							
		40%	37%	54%	53%	29%	28%	68%	68%
		58%	55%	8%	10%				

5 分析

【校訓・三つの実行】

- ・校訓でもある「澁刺と楽しい学校生活」に関する質問項目への肯定的な回答の割合は生徒・保護者ともに80%以上となっている。
- ・生徒の三つの実行（元気なあいさつ、整理・整頓・清掃、時間を守る）に関する質問項目への肯定的な回答の割合は全ての項目で80%前後となっている。
- ・保護者の整理・整頓・清掃に関する質問項目への改善を要すると回答した割合は40%以上となっている。
- ・昨年度と比較すると生徒の肯定的な回答の割合は低下している傾向にある。

【重点1：真の学力の向上をめざし、主体的・対話的で深い学びを可能にする学習指導の充実】

- ・生徒の積極的な授業参加、ICTの活用に関する質問項目への肯定的な回答の割合はともに90%以上となっている。
- ・昨年度と比較すると生徒の肯定的な回答の割合は低下している傾向にある。

【重点2：心身ともに元気で豊かな生徒を育成する生徒支援の充実】

- ・いじめのない明るい学校、きまりやマナーを守るに関する質問項目への肯定的な回答の割合は生徒・保護者ともに90%以上となっている。
- ・保護者の進路・キャリアに関する質問項目への改善を要すると回答した割合は40%以上となっている。

【重点3：「地域とともにある学校づくり」をめざしたコミュニティ・スクールの推進】

- ・生徒の安全で安心な学校生活、安全・安心への配慮に関する質問項目への肯定的な回答の割合は90%以上となっている。

【重点4：教職員一人ひとりのよさや個性を活かした学校づくりの推進】

- ・地域の活動への関心に関する質問項目への改善を要すると回答した割合は生徒・保護者ともに40%以上となっている。

6 考察

《成果》

- ・「3つの実行」や本年度の重点項目を意識した指導を行っていることが、生徒の「澆刺」とした学校生活につながっている。
- ・令和2年度から令和4年度にかけて、「主体的で対話的な深い学び」の研究を行っており、ICTを基盤とした自律的、協働的、創造的な学びに継続して取り組んでいることが、生徒自身の主体的に学んでいるという実感につながっている。
- ・生徒指導部によるいじめ予防授業に係る研修や、教育相談部会によるカウンセリング研修による教員の資質・能力の向上が生徒に還元されている。有事の際にも各部会で綿密に情報共有を図り、チームで対応していること、日頃の生徒との関わりの中から、温かな人間関係を醸成するよう努めていることなどが肯定的な回答につながっている。
- ・小中合同下校・引き渡し訓練や年に2回実施している避難訓練によって「自分の命は自分で守る」という防災意識につながっている。

《課題》

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大によって、地域の活動が制限されていたことが地域への関心の低下につながっている。徐々に地域の活動も元に戻りつつある中、地域の活動を生徒に発信することや地域とつながる場を設定していくことが必要である。
- ・昨年度と比較し、生徒の肯定的な回答の割合が全体的に低下している傾向が見られた。継続した取り組みを行うことはもちろん、個や集団の特性に応じて臨機応変に指導を行っていく必要がある。